

## せせらぎ遊歩道の計画案について議論しています

川西市では、現在、中央北地区整備事業として農業用水路を活用し、新たな小川のような水路のあるせせらぎ遊歩道の整備を計画しています。

これまでのワークショップで話し合ったイメージを実際に計画案にするために、第5回ワークショップでは事例視察を行いました。その後、第6～8回ワークショップでは具体的な施設整備に向けた話し合いを行い、最終案として取りまとめました。

### ●ワークショップの開催日程

第1～4回 7～10月 主旨説明・現地調査 暮らし方（使い方） の共有	第5回 11月20日(日) 事例視察 (京都 堀川・七瀬川)	第6回 11月23日(祝) デザインの共有 (計画案の抽出)	第7回 12月10日(土) デザインの共有 (計画案の 方向性の確定)	第8回 1月29日(日) 育て方の共有 (最終案の確定、 管理運営計画)	第9回 3月2日(金) 育て方の共有 (整備後の 管理運営計画等)
---	---	---	---	--	---

### 第5回ワークショップ イメージを具体化するために事例視察を行う

他の先進事例を勉強するために、京都市の堀川や七瀬川の見学に行きました。堀川、七瀬川ともに、区間によって整備の仕方や趣向が異なり、様々な整備手法を確認することができました。



事例視察の様子

### 第6回ワークショップ 望ましい「せせらぎ遊歩道」の空間イメージを形にする

参加者の意見を基に事務局が作成した計画案をたたき台として、具体の施設計画について議論を行いました。これまでに提出された各班の提案を集約した計画案（2案）について説明を受けた後、どのように意見が反映されているかを確認しながら、修正箇所や新たに検討すべき点について議論を重ねました。



グループワークでのまとめ

### 第7回ワークショップ 「せせらぎ遊歩道」の最終案に向けた意見交換を行う

第6回のワークショップでいただいた意見を再度整理し、事務局で作成した計画案を使って、各班でせせらぎ遊歩道南線の方向性の確定に向けた意見交換を行いました。事務局で作成した2つの案から1案に集約すべく、各班での話し合いの後には、全体での議論の場を持ち、最終案を決定するための話し合いを行いました。



ワークショップの様子

### 第8回ワークショップ 誰からも親しみを持って呼んでもらえる愛称等を検討する

前回までのワークショップでいただいた意見を基に事務局が作成した図の最終案を確認した後、整備後のせせらぎ遊歩道の愛称について意見を出し合いました。

また、その他にも今後の中央北まちづくりへの願いを市民からの提言書としてまとめるための意見交換を行いました。



グループワークでのまとめ

# せせらぎ遊歩道の基本的な方向性

## 各班からの意見

**A班** 【キャッチフレーズ】  
市民がつくる楽しくいやされるまち  
人・自然・ほこり (多世代がふれあい 自然やほこりを子どもに伝える)

### 【当初イメージ】

- ◇散歩の色々なイメージ ◇自然・花・樹木を楽しむ
- ◇イベントでふれあう ◇自由に使える場所
- ◇安全に使う ◇市民の誇りとなる土地利用
- ◇水で遊ぶ・生物にふれる・水に近づく
- ◇市民が関わって作る・世話する

**B班** 【キャッチフレーズ】  
生きもの天国  
～いやしのオアシス せせらぎタウン～

### 【当初イメージ】

- ◇命を育て命を守る ◇人々の交流の場
- ◇ホテルとタナゴとカフソボの道 ◇いやしと健康
- ◇街はカーニバル! (多くの人が訪れる街) ◇避難順路
- ◇待ち合わせ場所集いの場のシンボル

**C班** 【キャッチフレーズ】  
きらめき体感 三世代へ!!

### 【当初イメージ】

- ◇子ども自然 次世代 ◇四季の体感
- ◇人が集う・人の息吹

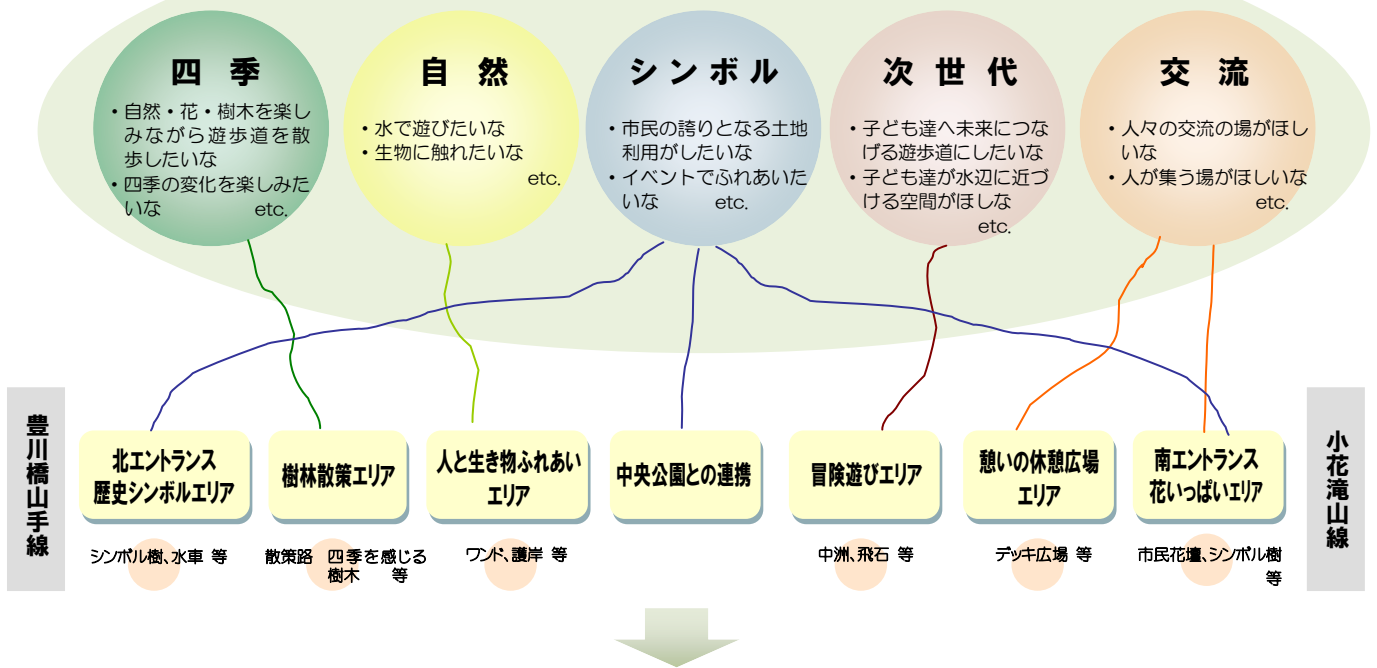
**D班** 【キャッチフレーズ】  
自然が育む感性豊かな夢歩道  
～出会い・創造・よるこびを次世代へつなぐ～

### 【当初イメージ】

- ◇子どもたちへ 未来へ ◇ふるさと
- ◇シンボル ◇自然 (中洲、四季の変化、豊かな自然)
- ◇発信 ◇安全・安心

## 全体で共有されたイメージ

### バリアフリー



## 基本的な方向性

- ① **シンボル** 南北につながるストーリー性
- ② **シンボル** シンボリックな空間
- ③ **自然** 流れ、幅に変化ある水路
- ④ **自然** 自然に近い素材の園路
- ⑤ **四季** 四季を楽しめる園路、植栽
- ⑥ **次世代** 幅広い年齢層のこどもの遊び場
- ⑦ **交流** 多世代に適した交流の場
- ⑧ **バリアフリー** バリアフリー経路の確保

# わたしたちが考えるせせらぎ遊歩道

## 北エントランスエリア

### ～地域の歴史を伝えるシンボルエリア～

- ・シンボルとしての水車、分水堰をモニュメント的に配置する。
- ・シンボル樹を配置する。
- ・四季の変化を楽しめる低木植栽（哲学の道みたいに）を行う。
- ・隣接する住宅地に配慮して、沿道の街路樹は常緑樹をメインとする。
- ・歴史エリアとして在来樹種を配置する。

## 樹林散策エリア

### ～様々な樹木を 散策歩道沿いに楽しめるエリア～

- ・陰になる木立、落ち着いた生活感のある空間
- ・落葉の踏める環境をつくる。
- ・工場の既存樹木を極力活用する。

## 人と生き物ふれあいエリア

### ～こどもから大人まで

### 緑や生き物とふれあい遊ぶエリア～

- ・人と人がふれあい、ゆったりと時間を過ごすことができるような、ゆとりある豊かな空間として整備する。
- ・ヤリタナゴなど現存する生物種が生息しつづけ、かつ増えることのできる自然な護岸にする。
- ・水辺に近づき、生き物観察ができ、ふれあえる工夫を行う。
- ・こどもの喜ぶ実のなる樹木を配置する。
- ・花も楽しめる水辺植栽を配置する。

## 冒険遊びエリア

### ～水路と地形、遊具などで より活動的に自然と遊ぶエリア～

- ・地形やアスレチック遊具で子どもが遊べる空間とする。
- ・ゆるやかなスロープで水辺に近づけるような工夫をする。
- ・木登りが楽しめる木を配置する。

## 憩いの休憩広場エリア

### ～大人から幼児まで

### ゆったりとくつろぐことのできるエリア～

- ・デッキ広場と一体となったフジ棚を設置する。
- ・隣接する住宅地に配慮して、沿道の街路樹は中木と低木をメインとして植栽する。

## 南エントランスエリア

### ～華やかなシンボルとなる エントランスエリア～

- ・市民が育成、維持管理に関わっていく市民花壇を配置する。
- ・市民管理による花壇はエントランス中心ではなく、歩道沿いに配置する。



## コーディネーターの先生からの総評です

### 加我 先生 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 准教授)

- せせらぎ遊歩道の特徴である猪名川の水を活かして、その水際で、また水の中に生息する自然のことを第1に考えて空間を造っていかうという思いを反映した整備案になったのではないかと思います。
- せせらぎ遊歩道のこれからの使い方・育み方について、例えば「このワークショップに参加した人は何らかの形で関わっていくことを意識してください」といった提案がありました。今回のワークショップでも今後の仕組み作りについて議論が出来ればと思います。
- 大阪府の大きな公園では、公園の将来像を皆で考えることから始め、その公園に関わる人たちをパークレンジャーとして養成し、その後パーククラブというグループを立ち上げているところがあります。今後、せせらぎ遊歩道のファンクラブが必要となってくるかもしれませんが、そのような新たな関わり方・組織体制についても次回議論していければと思います。



### 今西 先生 (NPO 法人 野生生物を調査研究する会 理事)

- 皆さんの思いが、この最終案に凝縮されていると感じました。第3回ワークショップでのキャッチフレーズの提案がここに反映されており、すばらしいことだと思いました。
- 川西市のせせらぎ遊歩道ができる場所は自然的な要素や素材の多い場所であり、川西市の財産だと感じています。
- 皆さんからも多くの意見をいただきましたが、せせらぎのある公園を造るということでは、今後、周辺とせせらぎ遊歩道をどのようにうまく連携させていくかも大事なポイントになると思います。それらのことを念頭に置きながら、自分たちの思いを報告書にまとめていただきたいと思います。



### 澁野 先生 (写真家)

- これまで議論を重ねてせせらぎ遊歩道の設計を行ってきましたが、人と自然との関係性では、水路を流れる水と遊歩道とが一体的に感じられ、親水性のある場になってほしいと思います。
- せせらぎ遊歩道の幅員は16mありますので、配植の仕方によれば水路や隣接する住宅地に影響を与えない形で様々な樹種を植えることができるのではないかと思います。また、予算の関係もあると思いますが、水路と遊歩道の形状は、今まで自然に育まれてきた生物が持続していける空間にしていけたらと思います。
- 整備後は遊歩道の中で「この時期、この時間のここからの眺めがきれいだ」といった場所を探し出していきたいです。



## ●今後の予定

- 市民発表会 日時：平成24年3月24日(土) 14時～16時  
内容：「わたしたちが考えたせせらぎ遊歩道」の発表  
「ワークショップの記録」上映・模型の展示

〈連絡先〉川西市役所 中央北整備部 中央北推進室 地区整備課

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12番1号 TEL:072-740-1207(直通) FAX:072-740-1330